

まちづくりNEWS

旭川市総合計画市民検討会議

第4分科会 vol.3

平成26年10月7日

(発行元)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階

TEL/FAX 26-0338

(委託者)旭川市総合政策部総合計画課

第4分科会第3回目の議論！

平成26年8月12日(火)に、第3回旭川市総合計画市民検討会議第4分科会が開催されました。

平成28年度からの新たな総合計画の策定に向けた検討を行うために設置された検討会議において、この第4分科会は、これからの旭川市の「産業・交流」についての議論を行っています。

今回の会議では、3つの班に分かれ、第1班は第1次産業、第2班は第2次産業、第3班は第3次産業を中心に議論しました。SWOT分析の手法を用いて、旭川の「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」の4項目について、考えられるものを挙げて議論し、今後予想される機会に対し、強みをどう生かすか、また、今後訪れるであろう脅威に対し、弱みをいかに打ち消すかを考えてまとめた後、班毎に発表を行いました。

第1班(第1次産業について)

① SWOT分析 → 旭川の「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」として考えられるもの

【強み】

「木材資源が豊富である」、「水源が豊か」、「おいしい水」、「災害(台風)が少ない」、「土地が広い、耕作面積が大きい」、「食材の大きな市場がある」、「空港が近い」、「北海道ブランド」、「おいしいお米」、「農業に適した自然」、「フロンティアスピリットに富む」、「地震が少ない」、「野菜の種類が豊富」、「病原菌が少ない」

【弱み】

「高齢化」、「危機感が足りない」、「林産業が弱い」、「エンドユーザーから遠い」、「人口減、後継者不足」、「食材を活かしきれない」

【機会】

「温暖化」、「広葉樹王国である。48%が広葉樹」、「農(林)業を志向する若者の増加」、「ブロードバンド地域の拡大」、「サハリンが近い」、「温暖化が進む 他に比較有利になる」、「農業のIT化」、「TPP 品質のよい農産品の外国への販路拡大」、「あさっぴーとのコラボ企画」、「米粉ブーム」、「さらなる品種改良」

【脅威】

「TPP 生産性の高い外国産品との競争」、「米離れ+人口減少→販路の縮小」、「異常気象」、「TPPによる販売代金下落」、「後継者不足」、「消費増税」、「消費の減少」

② まとめ・発表

○農業のIT化を推進し、生産効率を上げるため、意欲の高い若者を就農させる。

○TPPに向けたさらなる品種改良のための研究開発への投資が必要

○豊富な広葉樹資源を生かしたエコ社会の推進が必要



第2班(第2次産業について)

① SWOT分析 → 旭川の「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」として考えられるもの

【強み】

「旭川のことを好きな人が多い」、「北海道の中心にある」、「北海道の一員であること」、「適正な労働賃金」、「素材 原材料の優位性」、「加工技術がある」、「クリーンなイメージ」、「総理大臣賞などの商品がある」、「空港がある」、「水が良い」、「全国的に見ると人口が多い都市」、「災害が少ない」、「人材」、「空港～医大間に6kmの畑地がある」、「大きな駅がある」、「温泉と雪 暖冷エネルギー」、「自然」、「素材(農産品)の近く」、「高専がある」、「家具」

【弱み】

「交通の便が悪い」、「売り方がへた」、「知識・技術の不足」、「安いことが良いと思っている」、「後継者不足」、「都市の規模の割に土地が高い、狭い」、「工業技術センターに研究員がいない」、「大企業が少ない」、「ものづくり関係の教育環境」、「市長の営業力」、「アイデア対価を大切にしない」、「創業力」、「廃業」、「6次産業の連携不足」、「Uターンできる企業が少ない」、「プロモーションの低さ」、「人口減少」、「人材の流出」、「消費地から遠い」、「冬、雪、氷」など

【機会】

「空港の拡大」、「地域連携（産業間）」、「観光客の増加」、「オリンピック2020」、「高級高齢者がやってくる」、「外国人労働者」、「遷都」、「TPP 良い製品が売れる」、「プラチナタウン」、「再生可能エネルギーの普及」など

【脅威】

「他地域からの企業進出」、「TPP→安い材料が入ってくる」、「電力料金のアップ」、「安価な海外製品」、「もっと円安になる」、「原材料価格UP」、「後継者不足」

② まとめ・発表

- オリンピック等、観光客の増加の機会に対し、優れた商品（素材、加工技術）のプロモーションを図る。
- 高級高齢者の誘致により、高品質、高価格商品（例えば家具）産業を活性化させる。
- 地域の得意とする産業間連携により付加価値の高い製品・商品を開発、販売する。
- 安価な海外製品に対し、高機能・高品質製品を開発できる研究員を増員する。
- 後継者不足の産業に対して、参入しやすい生活・教育支援体制を整える。
- 他地域からの企業を誘致することにより、地元企業との連携を促進させ、人材の流出を防ぎ、Uターンの機会を促進する。
- 電気料金のアップに対し、旭川の自然を生かしたエネルギー産業をおこす。
- 安全・安心の意識の醸成に対し、地産地消の産業構造を再構築する。



第3班（第3次産業について）

① SWOT分析 → 旭川の「強み」、「弱み」、「機会」、「脅威」として考えられるもの

【強み】

「雪が降る」、「雪国」、「スキー場がある」、「寒さ」、「パウダースノー」、「雪を使って体に優しいクーラーを」、「水がおいしい」、「米がおいしい」、「農産物がある」、「地酒、地ビール」、「旭川食」、「病院が多い」、「一定の人口（道北マーケット）」、「地震の少ない街」、「大雪山」、「石狩川」、「四季が豊か」、「上川平野」、「北海道の中心に位置している」、「全国2位の橋の多い街」、「災害の少ない街」など

【弱み】

「買物公園の成功体験」、「発信力不足」、「買物公園のシャッター街化」、「空き地の増加 パーキング化」、「専門学校不足」、「若者の流出」、「国際イベントの数」、「外国人と交流した経験の少なさ（特にアジア人）」、「交際交流に対する市民の意識の低さ」、「就職先が少ない」など

【機会】

「アジアでの北海道ブーム」、「外国人旅行者 東南アジア増」、「バーサー大会」、「スポーツイベント マラソン、自動車、スキー」、「ソーラー産業企業の進出」、「オリンピックでのマーケティング」、「マスコミでの紹介（動物園、雪の美術館等）」、「美瑛・東川等、周辺の魅力」、「食べマルシェ」、「道庁を旭川へ」など

【脅威】

「美瑛・東川等、周辺の魅力」、「エネルギーの変化」、「若者の他都市流出」、「人口減少」、「定住人口の減」、「少子化」、「北海道新幹線」、「買物客の流出」、「2次産業」など

② まとめ・発表

- 強みを活かし市場機会を活用
 - ・寒冷地である旭川の雪を活かして自然エネルギーの利用
 - ・食べマルシェなどのイベントを地産地消の推進に活用
- 弱みを打ち消しながら脅威を回避
 - ・高等教育の充実によって若者の流出をとめる。



※ 第4分科会は、全4回実施する予定です。